

児童が田植え 芋掘り楽しむ

高崎・寺尾小

高崎市の寺尾小（高橋和幸校長）で22日、農業体験授業が行われ、PTA役員らの協力で6年生79人がジャガイモを掘り、5年生84人が田植えを行った。

総合的な学習の時間を利用。児童に収穫の喜びを味わってもらおうと、近くの畑約600平方メートルと田んぼ約700平方メートルを使い毎年行っている。

ジャガイモは3月に児童たちが植えた。収穫後は給食の材料になる。稲は5月にもみをまいて苗を育て、準備してきた。秋に収穫し、来年1月にはもちつき大会を開く。

6年生は手やスコップを使って土を掘り、大きなジャガイモを見つけると満面の笑み。

5年生は泥だらけになりながら、実りの秋を楽しみに丁寧に苗を植えていた。



ジャガイモを掘る6年生